

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 130032

老年看護方法論演習 Practice:Gerontological Nursing

| | | | | | |
|---------------|---|-----|----|------|-------|
| 担当教員 | 中道淳子、額奈々、渡辺達也、川島和代 | | | | |
| 実務経験 | 複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。 | | | | |
| 開講年次 | 3年次前期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 30 | | |
| Keywords | フィジカルアセスメント、看護過程、看護技術 | | | | |
| 学習目的・目標 | 目的： 紙上事例から、老年期に起こり易い健康問題のアセスメント、看護援助計画・立案の知識・技術を習得し、看護過程を展開できる能力を養う。 目標： 1.ヘルスケア・アセスメントの技法について習得する。 2.紙上事例中に提示された事実から、看護に必要な事実を選び出し、部分的・断片的な情報の意味を考え関連づけて、対象であるその人全体の中に位置づけることができる。 3.高齢者が健康的に生きていくための視点をもって、看護の方向性・援助計画を立案できる。 4.対象にあわせたケアの手順書を作成することができる。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1-2 | ガイダンス 老年看護における看護過程の展開 【演習1】看護過程の展開：脳血管障害による片麻痺の高齢者への看護（事例提示） | | | | |
| 3-4 | 【演習1】看護過程の展開：脳血管障害による片麻痺の高齢者への看護（展開の具体的な方法） | | | | |
| 5 | 【演習2】運動・排泄機能障害：移動・移乗動作の援助 | | | | |
| 6-9 | 【演習3】看護過程の展開：（グループワーク）認知症があり老人保健施設で療養する高齢者への看護 事例提示・情報の整理、病態の押さえ、全体像看護の方向性、看護計画立案 | | | | |
| 10 | 【演習3】看護過程の展開：（グループワーク）認知症があり老人保健施設で療養する高齢者への看護 発表・全体討議・まとめ | | | | |
| 11-12 | 【演習4】ケア計画立案、手順書作成 | | | | |
| 13-14 | 【演習5】足浴・フットケア 【演習6】認知機能障害への非薬物療法 | | | | |
| 15 | 老年看護学における看護技術 | | | | |
| 教科書 | 水谷信子他編、最新 老年看護学、第3版、日本看護協会出版会、2020. | | | | |
| 参考図書等 | 金川克子監修：最新高齢者看護プラクティス 疾病・障害をもつ高齢者の看護、初版、中央法規出版、2005. | | | | |
| 評価指標 | 演習の課題レポート（60%）、事例のグループワーク（40%） | | | | |
| 関連科目 | 老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、老年看護実習 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 高齢者への看護援助技術を展開することは、自立と依存の関係に目を向けることです。この単元を習得し、自分の知識と関心を高齢者に表現する技として身につけて下さい。 | | | | |